

1 社会・治安情勢

- (1) 2014年5月中旬に発生したデモ、2016年5月初旬に発生した魚大量死に関連した大規模なデモ以来、国家の統治及び社会秩序を不安定にするような暴動、テロ、大規模なデモなどの発生は発生していなかったが、2018年6月中旬、経済特区法案等に関連する大規模なデモが全国各地で発生した。
- (2) 殺人、強盗、薬物関連、人身売買事案など重大凶悪事件の発生や検挙は当地マスコミ媒体などにより日々報道されている。在留邦人や邦人旅行者からは、スリや置引きなどの窃盗を中心とした犯罪被害が当館に報告されており、一般治安状況については十分な注意を要する。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から、ハノイ市における犯罪発生状況、検挙状況等を抜粋したもの。（2020年1月～3月実績。※（ ）内の数値は同年10月～12月実績。）

【刑法犯関係】

ア 刑法犯発生件数	:	863件（867件）
イ 刑法犯検挙件数	:	681件（730件）
ウ 刑法犯検挙人員	:	1,120人（1,157人）

【薬物犯罪関係】

ア 薬物犯罪検挙件数	:	1,097件（612件）
イ 薬物犯罪検挙人員	:	1,499人（846人）

【交通事故関係】

ア 交通事故発生件数	:	282件（314件）
イ 交通事故死亡者数	:	132人（133人）
ウ 交通事故負傷者数	:	188人（245人）

- (2) 邦人被害事案（主なもの）

- ア ハノイ市旧市街地区において、観光に訪れていた邦人が同地区を散策中、気がつかない隙に鞆やポケットに入れていた財布や携帯電話をスリ取られる盗難被害が複数発生している。
- イ 観光に訪れた邦人がノイバイ空港から市内に向かう際、声を掛けられたタクシーに乗車し、相場の数倍を超える料金を請求される被害が複数発生している。なお、国際線から国内線（その逆も）への乗り継ぎの際にも同様の手口による被害が複数発生している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生（当館把握分）は認知していない。